

NY マーケットレポート (2015 年 1 月 16 日)

NY 市場では、序盤に発表された米消費者物価指数が 2008 年 12 月以来 6 年ぶりの大きな落ち込みとなったことから、ドルは序盤やや軟調な動きとなった。しかし、その後に発表されたミシガン大消費者信頼感指数が 11 年ぶりの高水準となったことを好感して、ドルは主要通貨に対して上昇する動きとなった。また、株価が大きく上昇する動きとなったことから、クロス円も堅調な動きが続いた。そして、スイス中銀が対ユーロ相場の上限を廃止したことを受けて、ユーロは軟調な展開が続いたが、その動きが一服し、やや値を戻す動きとなった。

2015/1/16 (金)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	116.52	116.84	115.86
EUR/JPY	135.53	135.83	134.80
GBP/JPY	177.17	177.38	175.85
AUD/JPY	95.89	96.09	95.00
EUR/USD	1.1633	1.1647	1.1601

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	116.78	116.33
EUR/JPY	135.85	134.93
GBP/JPY	177.64	177.00
AUD/JPY	95.99	95.54
EUR/USD	1.1646	1.1576

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	16864.16	-244.54
ハンセン指数	24103.52	-247.39
上海総合	3376.50	+40.04
韓国総合指数	1888.13	-26.01
豪ASX200	5299.24	-32.13
インドSENSEX指数	28121.89	+46.34
シンガポールST指数	3300.68	-38.16

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6550.27	+51.49
仏CAC40	4379.62	+56.42
独DAX	10167.77	+135.16
ST欧州600	352.40	+3.95
西IBEX35指数	10038.90	+56.40
伊FTSE MIB指数	19254.54	+410.02
南ア 全株指数	48458.25	-66.00

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	117.69	117.77	116.35
EUR/JPY	136.01	136.17	134.86
GBP/JPY	178.34	178.35	176.60
AUD/JPY	96.90	96.90	95.54
NZD/JPY	91.71	91.72	90.73
EUR/USD	1.1557	1.1610	1.1460
AUD/USD	0.8234	0.8240	0.8160

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17511.57	+190.86
S&P500	2019.41	+26.74
NASDAQ	4634.38	+63.56
その他主要株	終値	前日比
カナ トロント総合	14309.41	+267.59
ブラ ボルサ指数	41402.01	+403.24
メキシコ ボベスパ指数	49016.52	+990.21

1/19 経済指標スケジュール

09:01 【英】1月ライトムーブ住宅価格
 09:30 【豪】12月新車販売台数
 13:30 【日】11月鉱工業生産
 13:30 【日】11月稼働率指数
 14:00 【日】12月消費者態度指数
 14:30 【日】12月全国百貨店売上高
 17:15 【スイス】12月生産者輸入価格
 17:30 【香港】12月失業率
 18:00 【欧】11月経常収支
 19:00 【欧】11月建設支出
 20:00 【ポーランド】12月生産者物価指数
 22:30 【カナダ】11月国際証券取扱高

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1276.90	+12.10
NY 原油	48.69	+2.44
CMEコーン	387.00	+7.00
CBOT 大豆	991.75	+0.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.48%	0.41%
3年債	0.81%	0.72%
5年債	1.29%	1.17%
7年債	1.60%	1.48%
10年債	1.82%	1.72%
30年債	2.45%	2.36%

1/19 主要会議・講演・その他予定
 ・米市場休場 (キング牧師の記念日)

(出所: SBILM)

NY 市場レポート

欧州タイム

21 : 40

《企業決算》

米ゴールドマン

第 4 四半期 1 株利益 4.38 ドル (予想 4.35 ドル)

22:00

ドル/円 116.58 ユーロ/円 135.10 ユーロ/ドル 1.1585

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6507.74	+8.96	ダウ INDEX FUTURE	17184	-99
仏 CAC40	4339.18	+15.98	S&P500 FUTURE	1978.40	-10.70
独 DAX	10034.17	+1.56	NASDAQ FUTURE	4056.00	-33.00

(出所:SBILM)

22 : 30

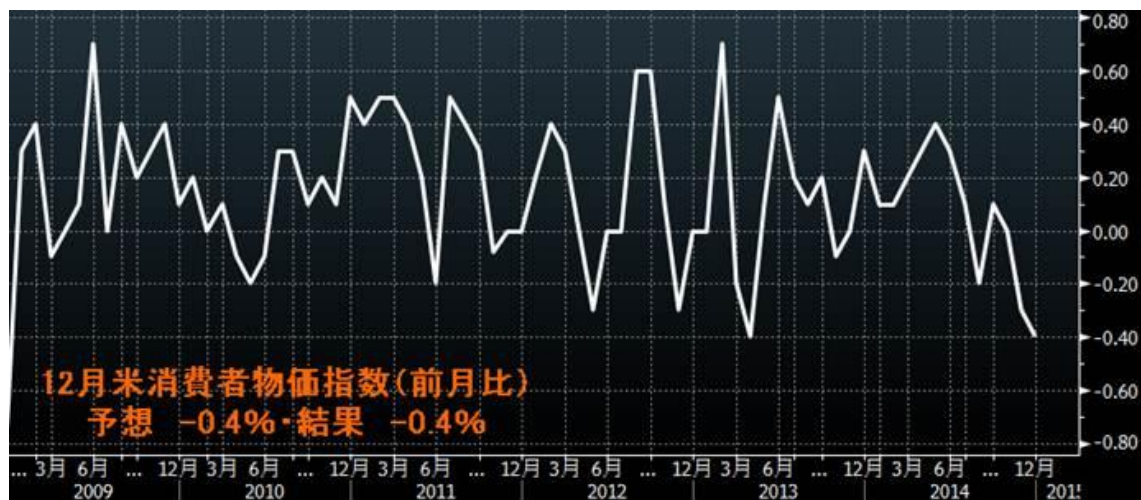
《 経済指標の結果 》

12 月米消費者物価指数 (前月比) -0.4% (予想 -0.4%・前回 -0.3%)

12 月米消費者物価指数[コア] 0.0% (予想 0.1%・前回 0.1%)

12 月米消費者物価指数 (前年比) 0.8% (予想 0.7%・前回 1.3%)

12 月米消費者物価指数[コア] 1.6% (予想 1.7%・前回 1.7%)



(出所:ブルームバーグ)



指標結果データ

《消費者物価指数》

	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月
全品目	-0.4	-0.3	0.0	0.1	-0.2	0.1	0.3
除く食品・エネルギー	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1	0.1
エネルギー	-4.7	-3.8	-1.9	-0.7	-2.6	-0.3	1.6
サービス	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0	0.1	0.1
食品・飲料	0.2	0.3	0.1	0.3	0.3	0.3	0.0
居住費	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1

【米消費者物価指数】

消費者物価指数（CPI = Consumer Price Index）は、消費者を対象とした小売やサービスの価格動向を示した指数である。特に、食品とエネルギーを除いたコア指数が重要視されている。そして、米国の金融政策を決定する上で重要な経済指標であり、為替市場への影響も非常に大きい。

23 : 00

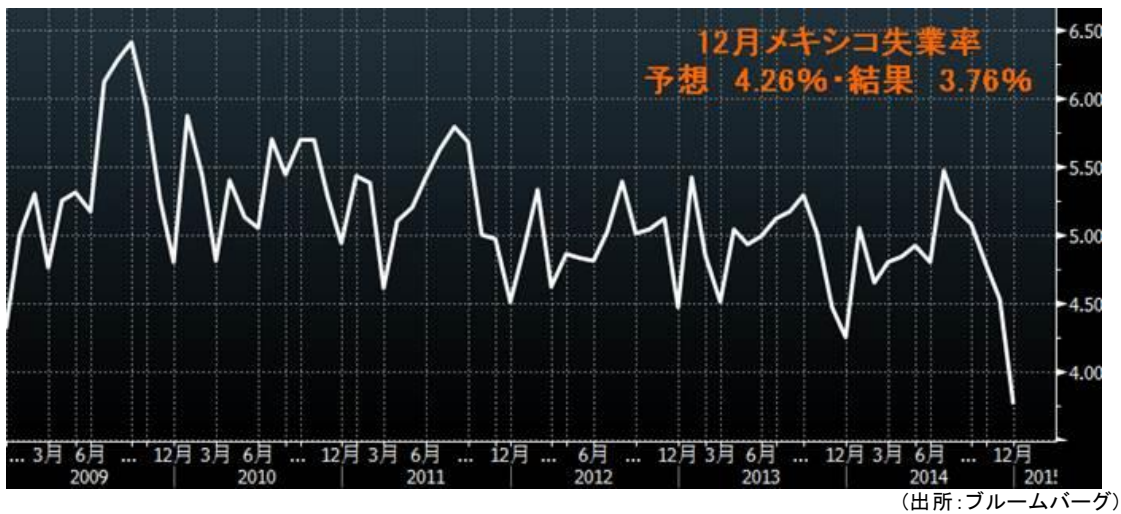
《 経済指標の結果 》

11月メキシコ景気先行指数 0.04（前回 0.06）

前回発表の 0.10 から 0.06 に修正

12月メキシコ失業率 3.76%（予想 4.26%・前回 4.53%）





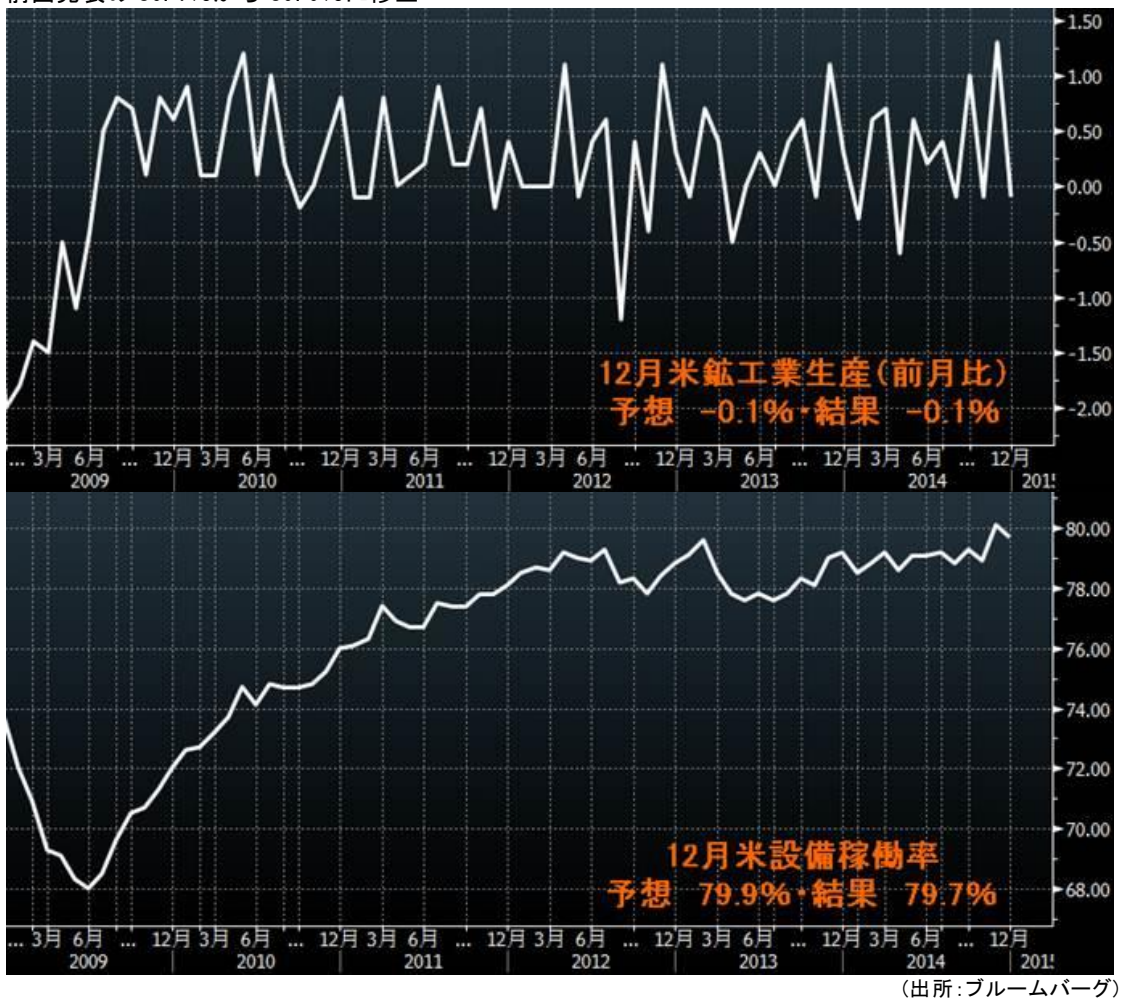
23 : 15

《 経済指標の結果 》

12 月米鉱工業生産（前月比） -0.1%（予想 -0.1%・前回 1.3%）

12 月米設備稼働率 79.7%（予想 79.9%・前回 80.0%）

前回発表の 80.1%から 80.0%に修正



指標結果データ

《米鉱工業生産・設備稼働率》

	12月	11月	10月	9月	8月	7月
鉱工業生産	-0.1	1.3	0.0	0.9	-0.1	0.3
製造業	0.3	1.3	0.2	0.3	-0.4	0.8
鉱業	2.2	-0.3	-1.3	1.5	0.7	0.1
最終製品	-0.8	2.0	0.1	0.6	-0.7	0.8
原材料	0.4	0.8	0.0	1.0	0.3	0.0
設備稼働率	79.7	80.0	79.2	79.5	79.0	79.3
製造業	78.4	78.4	77.5	77.4	77.3	77.8
鉱業	88.8	87.6	88.6	90.4	89.9	89.9

【米鉱工業生産】

鉱工業生産は、鉱工業関連の生産動向を指数化したものであり、2002 年を 100 として数値が算出され前月比で発表される。GDP に占める鉱工業部門の割合が約 20%程度であることから重要な経済指標である。

【米設備稼働率】

設備稼働率は、鉱工業生産と同時に発表され、設備投資・インフレの先行指標として注目されている。過去 20 年間の平均値が 80%であることから、80%を越えると設備投資が活発化すると判断される。また、景気回復局面ではインフレ指標としても使われる。

23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17307.10	-13.61
ナスダック	4671.86	-1.03

(出所:SBILM)

0 : 00

《 経済指標の結果 》

1 月ミシガン大学消費者信頼感指数 98.2 (予想 94.1・前回 93.6)



経済指標データ

《ミシガン大学消費者信頼感指数》

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
消費者信頼感	98.2	93.6	88.8	86.9	84.6	82.5	81.8
景気現況指数	108.3	104.8	102.7	98.3	98.9	99.8	97.4
消費者期待指数	91.6	86.4	79.9	79.6	75.4	71.3	71.8
1年インフレ	2.4	2.8	2.8	2.9	3.0	3.2	3.3
5年インフレ	2.8	2.8	2.6	2.8	2.8	2.9	2.7

【ミシガン大学消費者信頼感指数】

ミシガン大消費者信頼感指数は、ミシガン大学が消費者にアンケート調査を行い、現況指数（現在）、期待指数（将来）など消費者マインドを指数化した経済指標である。速報は 300 人、確報は 500 人を対象に調査を実施し、1964 年の指数を 100 として算出する。コンファレンス・ボード（CB）が発表する消費者信頼感指数と共に消費者マインドを見る上で重要な経済指標である。

0 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、12 月の米消費者物価指数は予想通りの下落率となったが、米国の低インフレ懸念が意識されて売りが先行した。ただ、原油価格が上昇したことから、石油関連の株価が上昇したことで下支えされている。

《 経済指標のポイント 》

(1) 12 月の米消費者物価指数は、前月比-0.4%となり、2008 年 12 月以来 6 年ぶりの大きな落ち込みとなった。ガソリンを中心にしたエネルギー価格の下落が物価全体を押し下げた。変動が激しいエネルギーと食品を除いたコア指数は、前月比横ばいとなった。また、前年同月比では、総合指数が+0.8%、コア指数は+1.6%となった。

①品目別では、エネルギーが-4.7%と 2008 年 12 月以来の大きな下げ幅となった。また、ガソリンが-9.4%、燃油も-7.8%となった。そして、食品は+0.3%、乳製品や果物・野菜、肉類などが値上がりした。

②原油安によるエネルギー価格の値下がりに加え、為替相場のドル高も輸入品価格を下押ししているとみられ、物価上昇は当面抑制された状態が続くと指摘されている。

(2) 12 月の米鉱工業生産は、前月比-0.1%となり、8 月以来 4 カ月ぶりの大きな下落率となった。例年より気温が高かったため、暖房需要が少なく電力・ガスの生産が急減速したことが影響した。

①製造業は+0.3%、一次金属が+2.2%、家具類が+0.5%。一方、主力の自動車・同部品は-0.9%となった。電力・ガスは-7.3%で 5 カ月ぶりに低下した。鉱業は+2.2%となった。

②設備稼働率は、前月比 0.3 ポイント低下の 79.7%となり、過去 20 年間の平均値の 80 を再び下回った。

③2014 年の鉱工業生産指数は、前年比+4.2%と 5 年連続でプラスとなり、設備稼働率は 79.2%と 2007 年以来 7 年ぶりの高水準となった。

(3) 1 月の米ミシガン大学消費者信頼感指数の速報値は、市場予想の 94.1 を上回る 98.2 となり、12 月の確報値から 4.6 ポイント上昇し、2004 年 1 月以来 11 年ぶりの高水準となった。現状指数は 108.3 と 12 月確報値から 3.5 ポイント上昇。1 年後のインフレ期待は 2.4%と 12 月確報値から 0.4 ポイント低下した。

1 : 30

《 要人発言 》

ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁

- ・「原油安は差し引きで米国にプラス」
- ・「強いドルは日本と欧州の弱さを反映」
- ・「2015 年中の利上げ開始は適切」
- ・「2015 年半ばまでに利上げ決定に近づく」

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6550.27	+51.49
仏 CAC40	4379.62	+56.42
独 DAX	10167.77	+135.16
ストック欧州 600 指数	352.40	+3.95
ユーロファースト 300 指数	1407.17	+13.76
スペイン IBEX35 指数	10038.90	+56.40
イタリア FTSE MIB 指数	19254.54	+410.02
南ア アフリカ全株指数	48458.25	-66.00

(出所: SBILM)

《 欧州株式市場 》

欧州株式市場は、ECB が来週にも国債購入を軸とした量的金融緩和に踏み切るとの期待感を背景に、主要株価は軒並み上昇する動きとなった。独に、独 DAX は取引時間中、終値ベースの最高値を更新した。



(出所: ブルームバーグ)

2 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 17355.74 (+35.03)、 S&P500 2004.59 (+11.92)、 ナスダック 4592.46 (+21.64)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、1月の米ミシガン大消費者信頼感指数が大幅に上昇し、11年ぶりの高水準となったことで投資家のリスク志向が回復し、安全資産とされる米国債の売りが先行した。また、前日までの続伸の反動で利益確定売りが出たことも圧迫要因となった。

午前の利回りは、30年債が2.44%（前日2.37%）、10年債が1.81%（1.73%）、7年債が1.59%（1.49%）、5年債が1.28%（1.18%）、3年債が0.81%（0.72%）、2年債が0.48%（0.42%）。

3:20

《 要人発言 》

ブラード・セントルイス連銀総裁

- ・「低インフレだけではゼロ金利を正当化できない」

4:30

NY金は、中心限月が前日比12.10ドル高の1オンス＝1276.90ドルで取引を終了した。

5:20

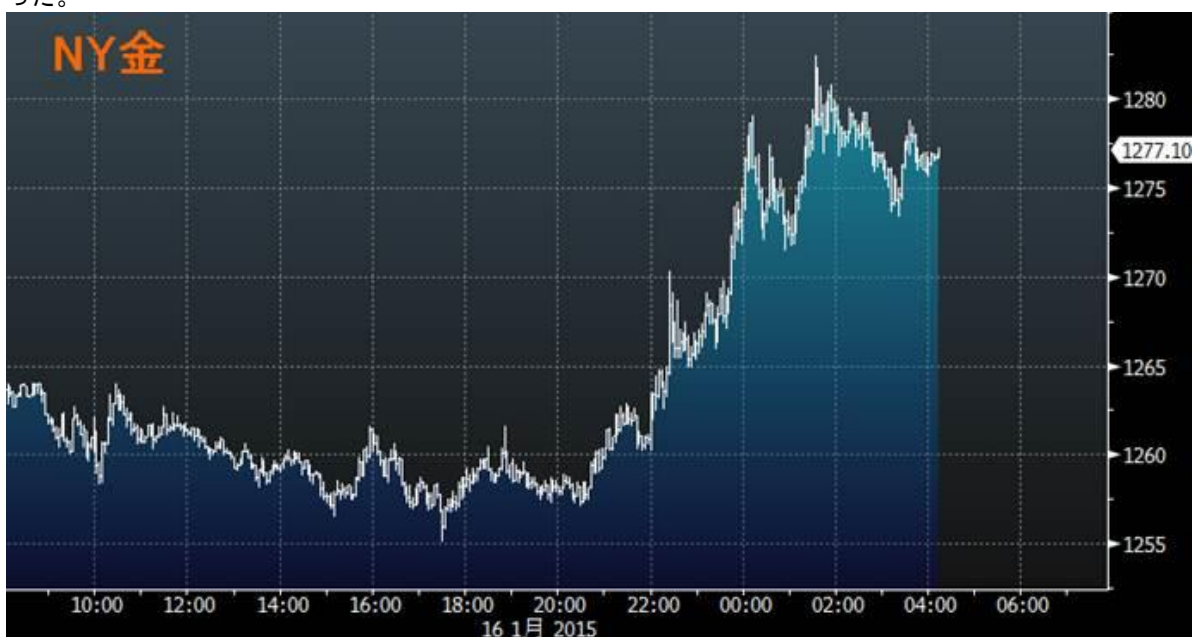
NY原油は、中心限月が前日比2.44ドル高の1バレル＝48.69ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1276.90	+12.10
NY 原油	48.69	+2.44

（出所：SBILM）

《 NY 金市場 》

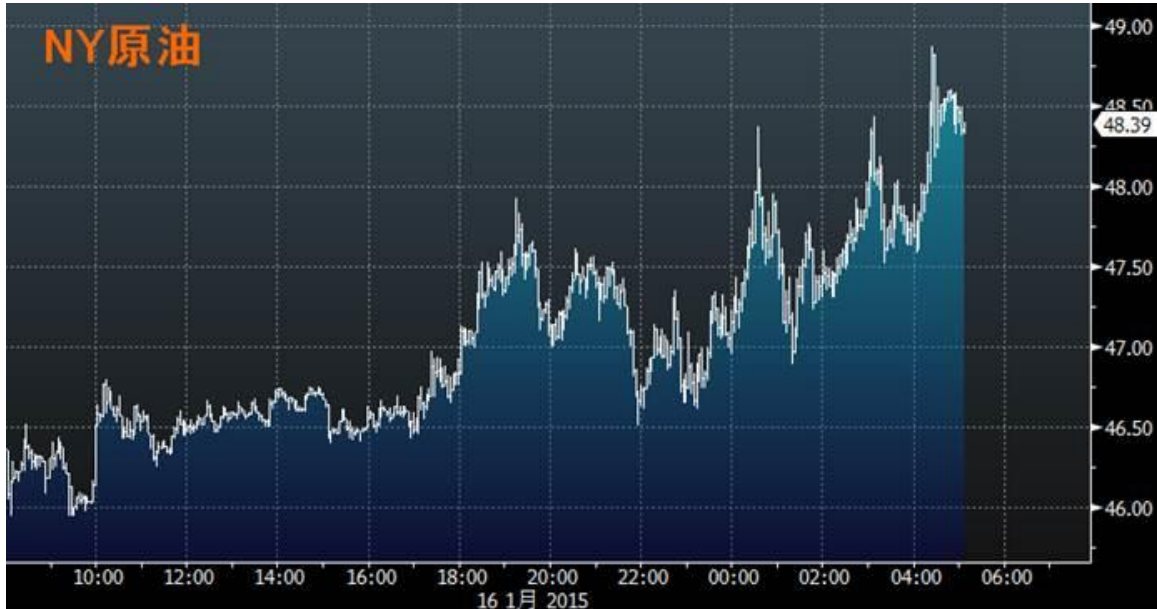
NY金は、スイスの通貨政策の変更による為替市場の混乱を背景に、比較的安全な資産とされる金に資金を避難させる動きが続き、6営業日続伸となった。終値ベースでは、2014年8月下旬以来、約4ヵ月半ぶりの高値水準となった。



（出所：ブルームバーグ）

《 NY 原油市場 》

NY原油は、IEA（国際エネルギー機関）がOPEC（石油輸出国機構）非加盟国の今年の生産高見通しを引き下げたことから、供給過剰への警戒感が後退して買いが優勢となった。また、ミシガン大消費者信頼感指数が11年ぶりの高水準となり、米景気の回復に伴うエネルギー需要の増加期待が広がったことも支援材料となった。



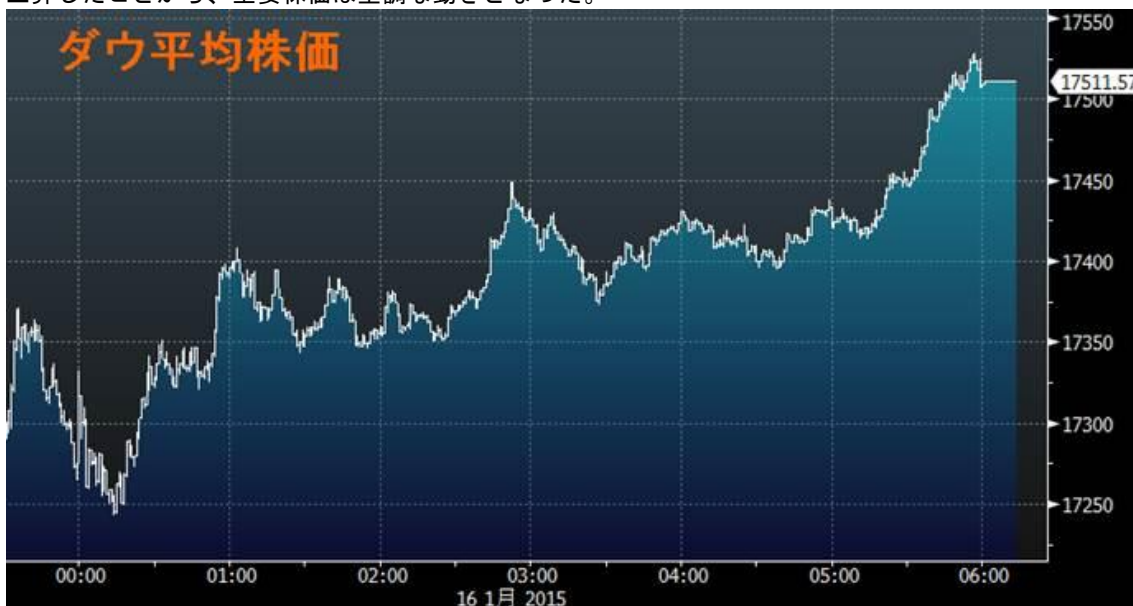
（出所：ブルームバーグ）

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17511.57	+190.86	17528.37	17243.55
S&P500 種	2019.42	+26.75	2020.46	1988.12
ナスダック	4634.38	+63.56	4635.82	4563.11

（出所：SBILM）

《 米株式市場 》

米株式市場は、12月の米消費者物価指数は予想通りの下落率となったが、米国の低インフレ懸念が意識されたことから序盤は売りが先行した。ただ、ミシガン大消費者信頼感指数が11年ぶりの高水準となったことや、原油価格が上昇したことから、主要株価は堅調な動きとなった。



（出所：ブルームバーグ）

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	117.69	117.77	116.35
EUR/JPY	136.01	136.17	134.86
GBP/JPY	178.34	178.35	176.60
AUD/JPY	96.90	96.90	95.54
NZD/JPY	91.71	91.72	90.73
EUR/USD	1.1557	1.1610	1.1460
AUD/USD	0.8234	0.8240	0.8160

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤はやや上値の重い動きとなったものの、堅調な株価動向や原油価格の上昇を受けて、投資家のリスク回避の動きが和らぎ、終盤まで円が主要通貨に対して軟調な動きとなった。



(出所: ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。